

2024 年度 新採労働学校

仲間と集まり話し合うことが大切

悩みや違和感を放置しない

岡 慎之助(香川) オカシノスケ

今回の新採労働学校に参加して、普段行くことのない国会議事堂の見学や、なかなか会えない同期との交流など、いろいろな体験をすることができました。分収会では全国の分会の方たちと交流をする中で、他の職場の実態やどのような仕事内容のかなどを知ることができました。講義についても国会議員からの話や、労働組合の歴史をはじめ保険に関する話など、お金に関する話など、貴重な話を聞くことができて、とても勉強になり労働学校に参加してよかったと思えました。今後もこういった活動には積極的に参加し、これからの活動に活かしていきたいです。

林田 健太郎(徳島) ハヤシダケンタロウ

今回の新採労働学校は、他地本の新規採用者の仲間と、各職場の状況や仕事の悩みを話し合うことができました。貴重な機会となりました。

渡辺 雄貴(局) ワタナベユウキ

新採労働学校に参加させていただいたことについて感謝の意を記したいと思います。労働学校では国会見学会、普段の生活では得られない経験をさせていただきました。また、労働組合の話、国有林野事業の話、お金の話など、職務とは別の目線において講義をしていただきました。私たちのためにこのような機会を設けていただいたことに感謝申し上げます。

今若 舞(四万十) イマワカマイ

今回、新採労働学校に参加させていただいたことは、とても良い体験となりました。全体を通して労働組合の意義や、その歴史について学んだことでより理解が深まったと感じました。

小笠原 有唯(局) オガサワラ ユイ

新採労働学校に参加させていただき、ありがとうございました。本学校では、参議院議員の方の講義に始まり、国会見学会や全国の分会の方との交流など、日常では経験することのできない貴重な体験をたくさんさせていただきました。これまで与えられた環境の中で働くことは仕方ないことだと考えていましたが、今回の活動を通して、皆で団結して働く環境を良くしていくという組合活動を知ることができるとても良い機会となりました。

伊勢脇 風雅(四万十) イセワキ オウガ

今回の新採労働学校では、普段見られないような国会議事堂や参議院議事堂の中に入る機会ができました。また、国会見学会や2日目の分収会では他地本の方々と話す機会があり、様々な地本でそれぞれ違った問題などがあることを知れてとても良かったと思います。また、東京観光もでき、とても有意義な時間になりました。これからも他地本の方々と関わりを持ち、仕事やプライベートも充実させていきたいと思えました。

谷口 涼音(安芸) タナチスネ

今回の新採労働学校では国会議事堂の見学や労働組合の存在意義、歴史と役割、保険やマネートラブルなど、普段なかなか見られない場所から生活に大事な知識までいろいろ学ばせていただきました。また、全国の同期と顔を合わせるの、1月の東京研修以来の2回目となり、以前会った時より、社会人として少し成長した同期たちと交流ができたことも、参加してよかったと感じる点になりました。

久保 惺夢(安芸) クボセム

なかなか会う機会のない同期たちと交流ができてとても良かったです。北海道の同期と話をする中で、北海道内にある実家へ帰るのに3時間以上かかってしまいが、それでもほぼ毎週帰っていると聞いて、驚きました。また、よく鹿が飛び出してくるらしく、すごいなと思いました。

松本 由佳(局) マツモト ユカ

新採労働学校では、労働組合や共済、国有林野事業の歴史などについて学びました。労働組合について何となくわかっていると思っていましたが、労働組合の存在意義と課題についていろいろ学び、労使関係の対等性やコミュニケーションの活性化など、職場環境の改善につながる大切な役割を担っていることを、深く学びました。



四国地本から参加した2024年度新入組合員の仲間

またこの機会に、九州から北海道まで多くの同期が集まりました。同期のつな



写真右、労働学校の風景

また、分収会では他地本の

また、分収会では他地本の

また、分収会では他地本の

また、分収会では他地本の

また、分収会では他地本の



写真左、国会議事堂前

も得るものが多かったこの労働学校に参加させていただき、ありがとうございました。

今回の新採労働学校では国会議事堂の見学や労働組合の存在意義、歴史と役割、保険やマネートラブルなど、普段なかなか見られない場所から生活に大事な知識までいろいろ学ばせていただきました。また、全国の同期と顔を合わせるの、1月の東京研修以来の2回目となり、以前会った時より、社会人として少し成長した同期たちと交流ができたことも、参加してよかったと感じる点になりました。

なかなか会う機会のない同期たちと交流ができてとても良かったです。北海道の同期と話をする中で、北海道内にある実家へ帰るのに3時間以上かかってしまいが、それでもほぼ毎週帰っていると聞いて、驚きました。また、よく鹿が飛び出してくるらしく、すごいなと思いました。

分収会ではコウモリが住み着いた昔舎があることなど、話を聞いてとても驚きました。地本毎の見学では、浅草に行き土曜日だったこともあり人が多かったし、その周辺の商店街では、夜もお祭りをしているのがすごかったです。調べてみると、この日は東京のどこでもかきこも祭りが行われていました。11月であの人の多きなら、夏はどうなっているのか、想像もつきません。疑問に思ったのは、なぜ林野庁や林野会館が東京にあるのか不思議なくらい、山や森、林どころか木も見当たらないほど人と高層ビルだらけでした。しかし、それもめめ良い経験となりました！